

第 40 回天文天体物理若手夏の学校 アンケート集計結果・講評

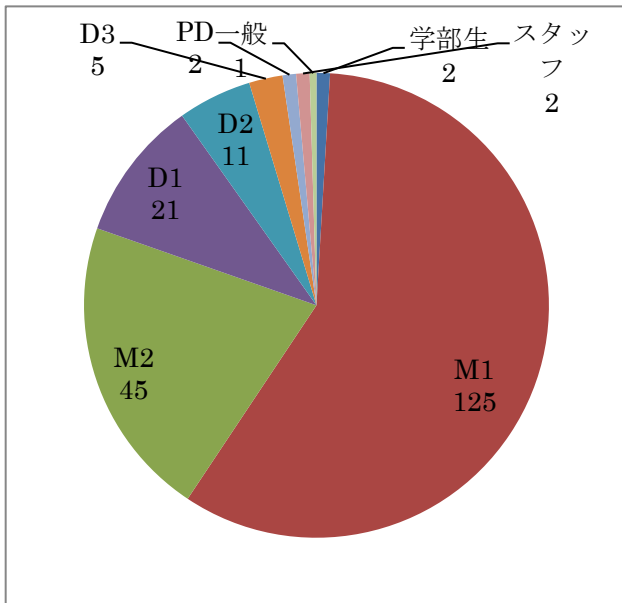
以下赤字は事務局からのコメントです

総回答数:214 (全参加者の 55%)

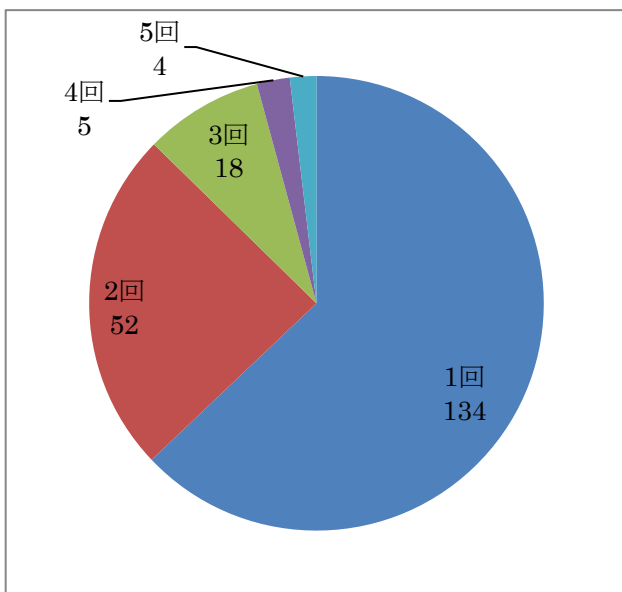
何度も呼びかけた成果か統計が成立する数は十分集まりましたが、もう少し頑張れた気もします。

1. 夏の学校全般について

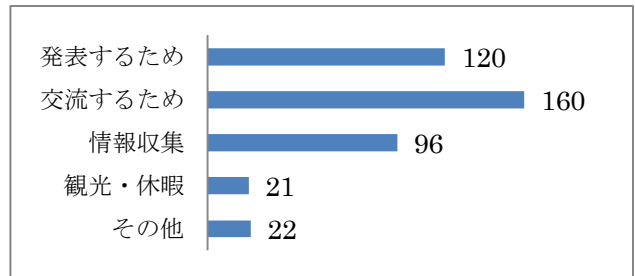
Q1.1 あなたの学年は？



Q1.2 夏の学校への参加は何回目ですか？



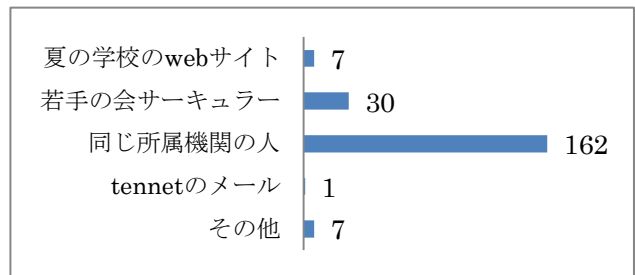
Q1.3 夏の学校に参加した理由をお選びください。



【その他】

- 座長 (10 件)
- 事務局 (8 件)
- 飲み会 (2 件)
- 後輩の引率
- ついでに帰省
- 招待講演をする

Q1.4 夏の学校の情報はどこで初めて知りましたか？

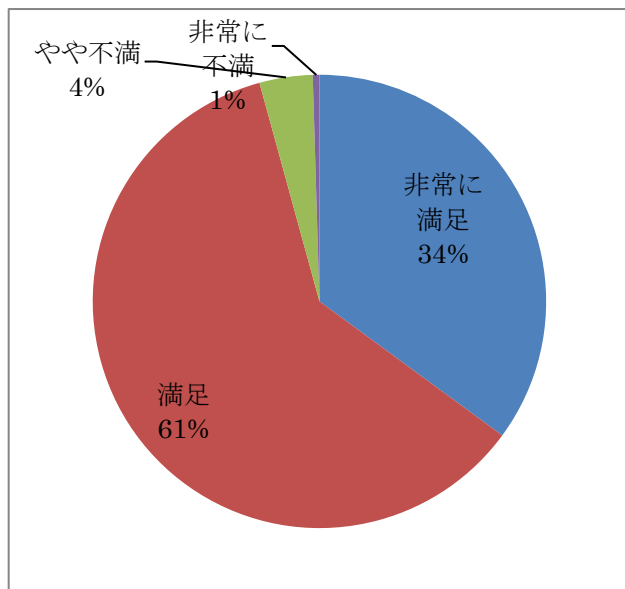


【その他】

- LOCからの連絡
- 夏が来れば思い出す、あの日の草津・・・
- 昨年の夏の学校での告知
- スタッフの人からの知らせ

同じ所属機関の人からという回答が最も多く、夏の学校が恒例行事として受け継がれているということでしょう。

Q1.5 夏の学校事務局からの事前の案内や対応は適切でしたか？



- ていねいすぎるくらいていねいで、詳しくかったです。
- 忙しい中対応してくれて親切だった。
- 進行がスムーズだった。
- 十分に細かく丁寧な案内でした。
- きちんとした対応が印象的でした。
- 困らなかった
- 親切でした。おつかれ様です
- 早めの対応ができていたから。
- 領収書などの対応がよかった

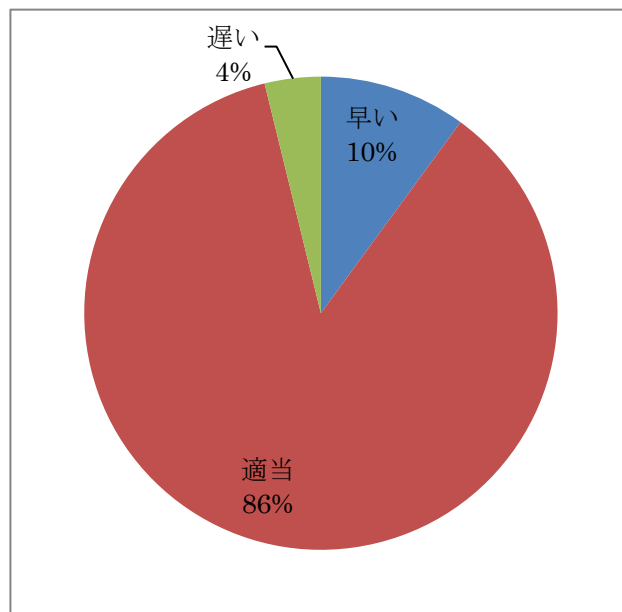
- 重要事項も普通の事項も全て同一のメールで通信されていて見分けがつかない。本当に重要なものは紙にするべきだと思う。

目立つようにする工夫は必要かと思いますが、紙にするのは運営コストの観点から非現実的です。

- 交通補助の案内をもう少しわかりやすくしてほしい。
- 夜中のメール(3時くらい)はやめてほしい
- **ごもっともです、大変申し訳ありませんでした。**
- ていねいだが量が多い
- 事前のスケジュール等のアナウンスが不十分

概ね満足して頂けたようで安心しました。

Q1.6 開催時期は適切でしたか？



【早い】

- 授業・テスト・レポートなどかぶった (9件)
- 大学のオープンキャンパスとかぶった (3件)
- 花火大会とかぶった (2件)
- 八月前半は忙しい
- 準備期間が…。

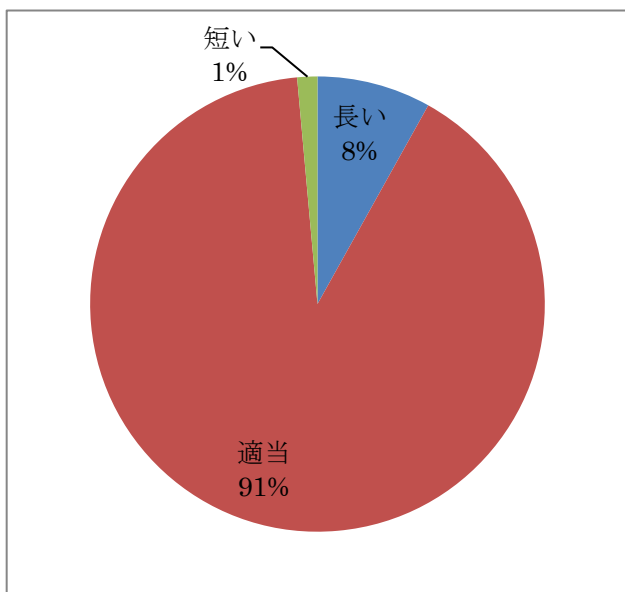
【遅い】

- 7月末がうれしい (2件)
- 飛行機がとりにくい

日程については大変難しいものがあります。7月末まで試験があるという大学は多く、今回もそれを考慮して決定しましたが、それでも試験や授業と被ったという意見が幾つかありました。一方でこれ以上遅くすると航空券や会場が高価になりまた予約も取りづらくなります。大胆に9月にするという案もなかったわけではないのですが…。

今後も検討が必要な点ではありますが、全員の要求を満たすことは困難なので最大公約数的な選択にならざるを得ないことを御理解下さい。

Q1.7 開催日数は適当でしたか？



【長い】

- 疲れが…
- 高くなる
- 金銭的に負担が大きい
- つかれた
- ぐだぐだになりやすい

【適当】

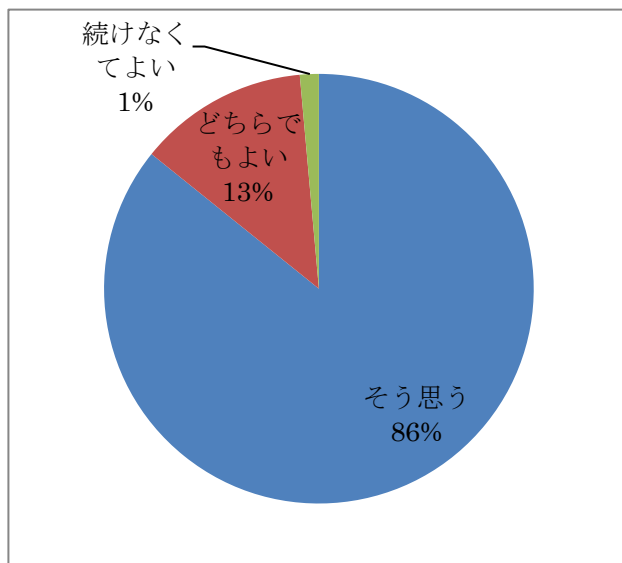
- 安いならもっと長くても
- 飲み会と体力のバランス
- 発表の数と4泊だと長く感じるのでこのくらいが。
- 多くの人と交流できた。
- 色々な発表が見れるため

現状の開催形式や日程について大きな不満はないようです。交流を深めたり幅広い分野の講演を聞いたりするのに合宿形式が良い、という意見が多くありました。

合宿形式は事務局の経費が大きくなり負担も大きいのですが、一方で大規模な合宿形式による利点も多く、例えば会場から有利な条件を引き出すことができ全体としての経費を削減したり、契約先を一元化して事務局の負担を減らしたりできるという側面もあります。

今回は宿泊費に会場費が込みというホテルとの契約上、会場ホテルへの宿泊を全員にお願いしました。これに関して幾つか意見を頂きましたが、*参加者全体*での費用を下げるため事務局として努力して引き出した結果ですので御理解頂ければと思います。

Q1.8 合宿形式は今後も続けた方が良いと思いますか？



【そう思う】

- 交流/議論が深められる (17件)
- 楽しい (4件)
- 夜まで飲める
- 合宿形式だと他分野の講演でも聞きにいいのかなという気になりやすいと思うから。
- 交流、発表練習、勉強のモチベーションがあがるから。
- 友人が増える。若手っばいから。
- 合宿以外の形式が分からないので、正直なんとも…
- 全国の人が集まるために
- 遠方だと泊まったほうが楽なので。
- 合宿以外なら意味なし
- 知人を作るのに合宿形式が適切だと思うため。

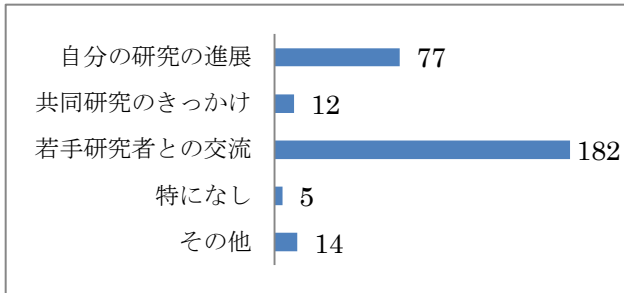
【続けなくてよい】

- 費用がかかりすぎる
- 財力がもちません。宿は指定以外でも良いことにしてほしいです。

【どちらでもよい】

- 飲み明かす事で親睦が深まるが、宿泊の面倒をみるのがLOCの負担なら「学会」形式でもよい
- 大変(主に事務局が)

Q1.9 今回の夏の学校への参加は、あなたにとってどのような意義がありましたか？



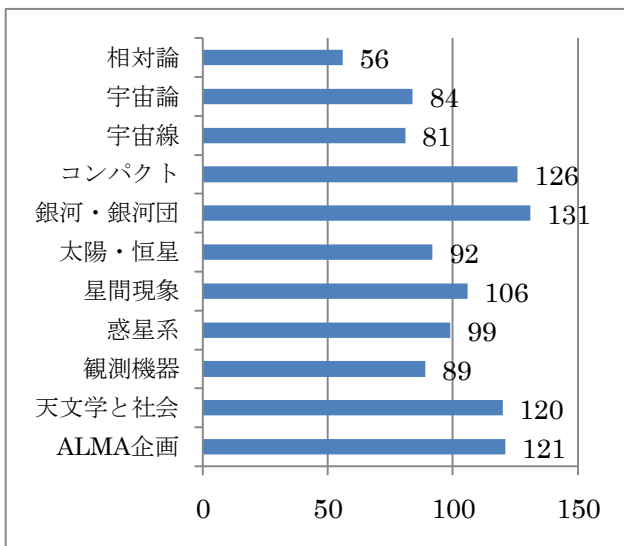
【その他】

- モチベーションの向上 (5件)
- 発表する経験をすること (3件)
- 将来の夏の学校運営の手本を学ぶこと
- いきぬき
- 知識交換
- 事務局
- 視野を広げた
- 研究以外の活動の発信

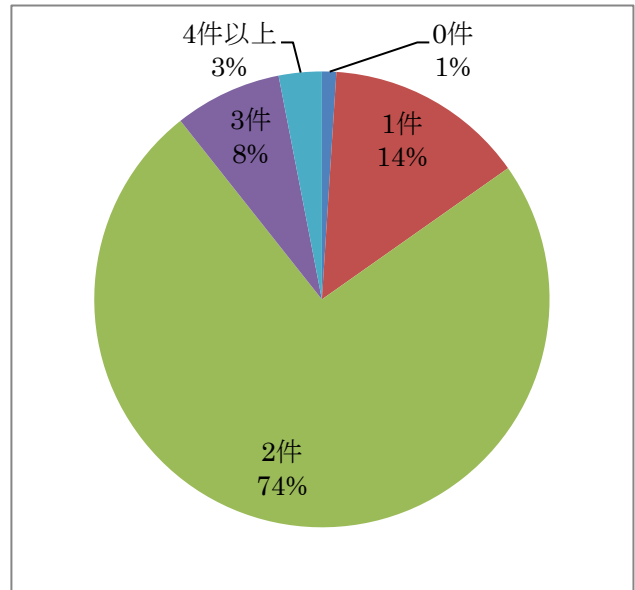
「共同研究のきっかけ」がもっと増えると夏の学校の存在がより強く意義を持つことになり良いと思います。

2. 全体企画・分科会について

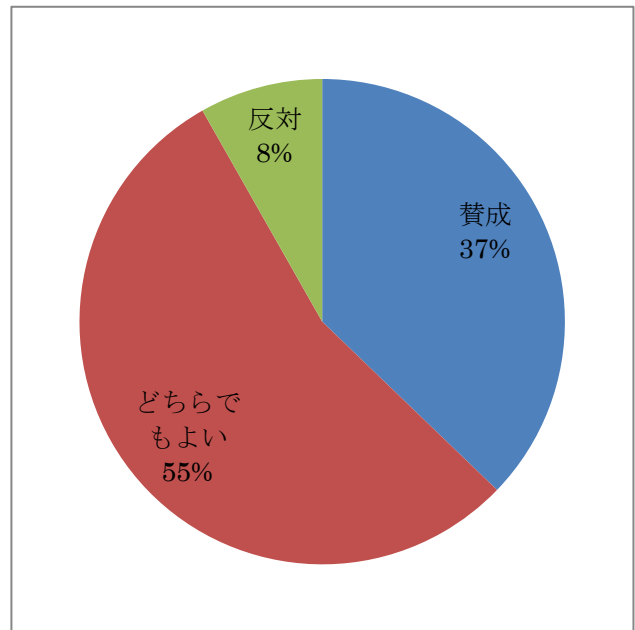
Q2.1 参加したセッションを全て選んでください。



Q2.2 全体企画は何件あると良いと思いますか？



Q2.4 全体企画をすべて公募制にすることについてどう思いますか？



【賛成】

- やる気もないのにやってもしょうがない。やる気があるならば自然発生するはず。
- 多くの人の意見を反映できる。ただし公募方法ではできる限りわかりやすく公開すべきだと思う。
- 不足・競合をうまく扱えれば盛り上がりそう
- 自由度上昇とやる気が上がる
- 全体の議論として活性化すると思う

- 座長を決めやすい
- 天社・天裏に対して固定した枠が与えられている必要は無いと思う。
- それでなくなるなら、それはそれで、
- 事前の企画募集の告知、投票を徹底すれば。
- 公募がたくさんあるよう支援しよう
- 公募は公募のよさがある気がする。

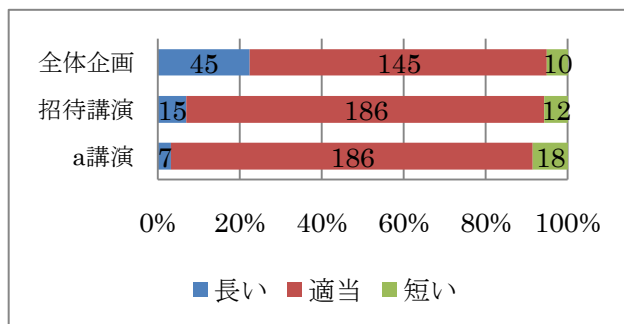
【反対】

- 集まらなさそう (6件)
- 十分に公募があればいいと思います (2件)
- 公募のテーマがないので提案しにくい
- 学校という以上、運営側の意図があったいいと思う
- 良い企画があるか公募してみて、良かったらやる方が良く思う。

【どちらでもいい】

- 企画が集まるならば問題はない (4件)
- 興味があれば出ればいいし、休憩取りたいれば取れば良いので。
- 「天社」「天裏」などのテーマを定めずに引き継ぎ式がよい
- やる気のある人が出てくればいいが、いないとなりたないの、ビミョー。
- 運営に関わっていなかったのわからない。
- どちらでも良いが、夏の学校でしかできない企画になるよう望む。
- 面白ければ何でも良いです。
- やりたい人がやれる形を模索してるようで好い
- 熱い討論したい、聞きたい
- 公募枠と推薦枠を設ける
- やってみると案外いいかもしれないから

Q2.3, 2.5, 2.6 全体企画/招待講演/a講演の時間は適切でしたか？



【全体企画：長い】

- 通常のセッションが少なくなる。
- 特に自分の興味でない話だったので、聞いててよく分からなかったため。
- 連続で、この時間をやるのは少々きつい。
- 途中で飽きてしまうので、30~45分くらいで良いのでは？
- ALMAのほうが長い
- 1時間くらいのほうが集中力が続く。
- ALMA 企画は講演のみで十分
- 前者のような企画もとても有意義だと思いますが、ALMA 企画のような今ホットな話題(入力者注:ここで文章は終わり)
- 2日に分けてもいいと思う
- 一人の話を聞くには長い。ディスカッションが多いといい
- 企画内容にもよると思うが、今回の天文学と社会は長く感じた。
- 集中力が下がってしまうので1件60分程度が妥当だろうと考える。

【全体企画：短い】

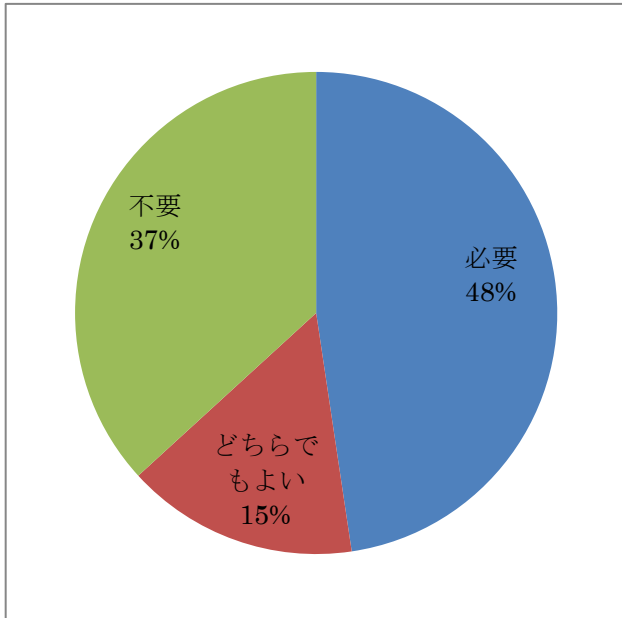
- ALMA 企画のパネルディスカッションの時間が短いと思う。
- ALMA が足りなかった、「天文学と社会」は充分
- ALMA 短い、天社眠い
- 特に ALMA 企画、もう少し各人の発表時間をとった方がいいと感じた。
- ALMA もっと長い方がよかった？
- 2時間あったほうがいいと思う

【全体企画：適当】

- 3泊4日という日数内に収まっているので、調度いいのではないかな。
- ただ食後は眠くなるのでやめてほしいです。
- 時間そのものは良かったが内容が天社薄い/ALMA 濃いすぎたかも。
- ただし、タイムキーパー(もしくは座長)は時間超過した人は途中で止めてもよいと思いました。
- 企画次第だが、90分が上限かと…
- ALMA は良いが、天社には工夫が必要
- 全体企画の時間としては適切だった。ALMA は少し長かったかな。

- 招待講演なので良い
- 集中して聞ける適切な時間だと感じる
- 大切なのは時間でなく中身、人選が重要
- 集中力の限界ギリギリかも。

Q2.7 b 講演の質問時間は必要だと思いますか？



【必要】

- 質問がないとわかっていると準備を油断する (2件)
- できればそれぞれの講演直後
- その場で質問することは大事です(時間のカンケーで1つくらいなら)
- せっかくなので発表したの、1人1つくらい質問を受けたほうが良いのでは!?
- 発表のみでは情報伝達が一方通行になってしまう。
- 質問時間がないと議論しにくい。ポスター前のみになってしまう。
- 時間に余裕がある限り質問時間はあった方が良くと思う。
- 意見交換の場としての意義が増す
- ポスターで聞く前のきっかけになる
- 発表なので質疑はあった方がよい
- a講演でもあるのだから、あってよいと思う
- ギロンは必要です
- 質問は学問の妻
-

【不要】

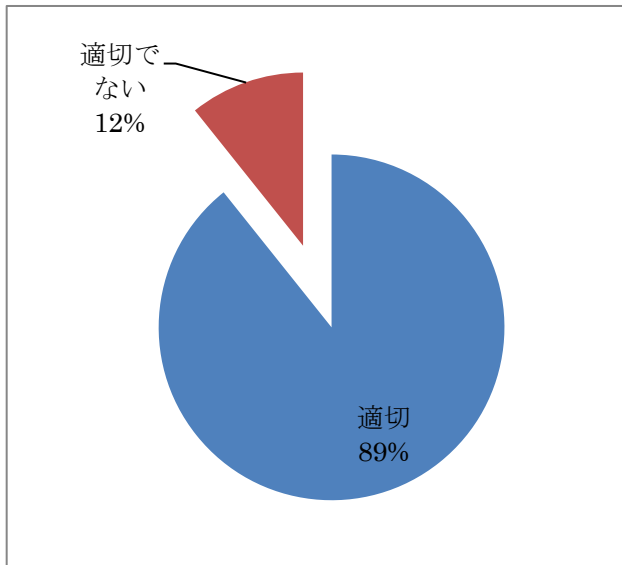
- ポスターで質問すれば良い (27件)
- 質問時間も考慮したタイムスケジュールになっていない。
- あまり有意義な質問が見られなかった
- 3分の講演に対して質問するのは専門外の人には不可能に近いから
- そもそも肝心のポスターを見ていないのに質問というのは……
- ポスター発表の意味がなくなる気がするので
- 長くなってしまふ
- 後でポスターがあると、質問しにくい
- 3分講演自体あまり必要ではないと思う
- 質問を一切されない人も居たので、ポスターセッションでやれば良いのではと思った。
- どうせろくな議論は出来ない。

【どちらでもよい】

- 時間にゆとりがあれば (2件)
- ポスターのところで直接質問できるんじゃないかな → 3分を4分にできる
- 最初の方の講演の内容を忘れてしまふ

ポスターセッションのあり方については毎回調査をしているのですが、ほぼ毎回意見が割れています。それに合わせて毎年試行錯誤してはいるのですが、結局どちらもどっちになってしまっているのが現状です。

Q2.8 今年は9つの分科会を行いました、研究分野の分け方は適切だと思いますか？



- 現在はこれで問題がないかと。ただ今後偏ることがあれば一考の余地も。
- 境界をはっきりさせておけばよいと思います
- 適度に分配されていたから
- バランスがよい
- 相対論と宇宙論はわけてよかったです。
- 人数の割合がよい
- 区別があいまいな気がしました。
- 細分化をお願いします。特に、天文教育は必要です。
- 分野が本当多いので、ある程度分けたほうが良いが、分けすぎると選びにくいので。
- 似たような話題が複数の分科会にわたることがある
- 2つの分科会にまたがったトピックもあると思う。
- 細分化しても良いと思ふ
- 相対論、宇宙論、コンパクトオブジェクトの共通領域があいまい
- あいまい
- 重複を少なく。
- 参加人数に偏りがある
- 地上観と飛行観を分けて欲しい
- SN 残がいかはコンパクトでできたい
- 太陽系、星形成を追加して欲しい
- 惑星系がよく分かりませんでした。
- 計算機関連がビミョーな気が
- 「星形成」の分野があれば良いとおもいました。

- 「相対論」という分け方がよくわからない
- 相対論+宇宙論で1つで良いと思う。相対論が少しさびしい。
- コンパクトが少し多いと思う。
- コンパクトが特に多いように感じたので、更に細分化してもよいのでは。
- 銀河・銀河団に AGN があると驚く。天文学会風に区分けしていいと思う。
- 僕にとって、という条件付きですが
- まあ難しいところだと思われます

今年度の方針としては分科会の構成を大きく変えることはせず、講演の割り振りなどで重複を避けたりバランスを取るよう可能な限り対応することになりました(申込時にキーワードを記入して頂いたのはそのためです)。分科会の構成は座長決定などの関係上一年では動かせないので長期的に検討していく課題と考えています。

・Q2.8 特定の全体企画・分科会にご感想やご意見があればお書きください。

【全体】

- もう少し質問しやすい雰囲気を。
- discussion の時間がどのセッションでも短いと感じました。講演数が多いので仕方ないのかもしれませんが、もう少しゆったりしたプログラムであればもっと良かったと思います。(でも無理かな?)
- 回ったところは全てスムーズな司会をされていました。とても良かったです。
- 招待講師の方への敬意や感謝が足りないように思います。

【宇宙論】

- ひっかきまわしてすみませんでした…。

【宇宙線】

- 全体にダラダラしてる

【コンパクトオブジェクト】

- 発表人数がやや多すぎる気がする
- 対応が親切で良かった。また質問のときも答えにくそうにしていたら、答えやすいものに変える気配りも良かった。

- パルサーの招待講演をやってほしかった。

【星間現象】

- 参加日程を締め切った後で、分科会の日程変更があったのがショックでした。
これは参加申し込み後に講演数が多かったため調整した結果です。この際に既に確定していた招待講演の時間をできるだけ変更しないという条件があり、このようにさせていただきました。講演時間を確保するための措置ですが、御迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。
- 本当に座長の人たちはよくやってくれました。僕以外の。

【惑星系】

- もっと講演数を増やして惑星勢力を強めたいです。(願望)
- 3分前に鐘を鳴らすのを統一して欲しい。(他に合わせるか、他が合わせるか)

【天文学と社会】

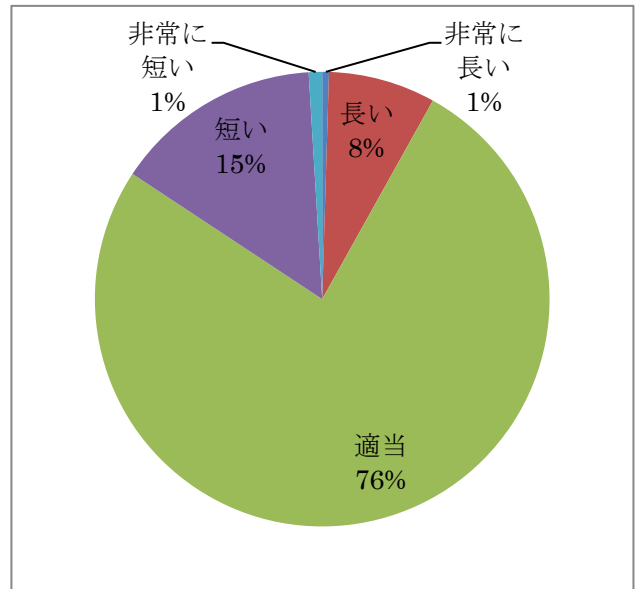
- 毛色が違って面白かったと思う
- 天文学会では聞けないような貴重な話を聞くことができたので最高でした。
- エンタープライズ号のくだりで泣きました(つ泣)。。。。
- 事業仕分けへの対応・議論などでもよかったかと思えます。
- 招待講師が…

【公募企画(ALMA)】

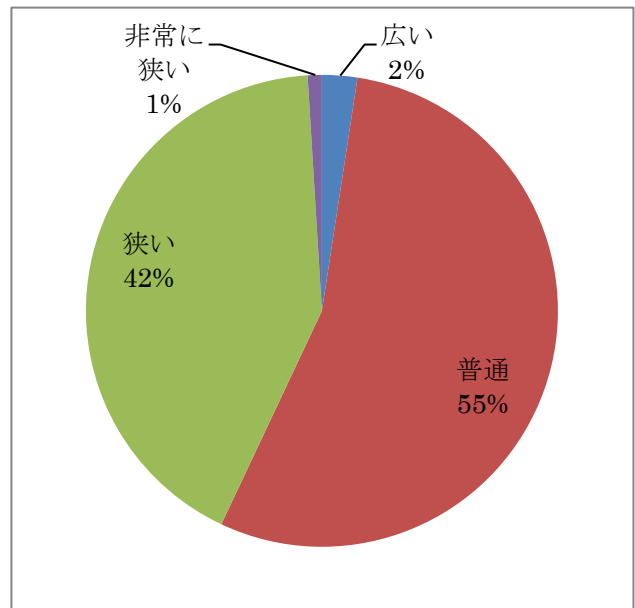
- 正に、これから必要な、我々が直面している問題を身近に考えることができたので、最高でした。
- 独創性溢れる発表に感動しました
- パネリスト講演はより話題を提起するような形を意識してもらうとよかった。
- Discussion をもう少しほしかった。

3. ポスターセッションについて

Q3.1 ポスターセッションの時間は適切でしたか？



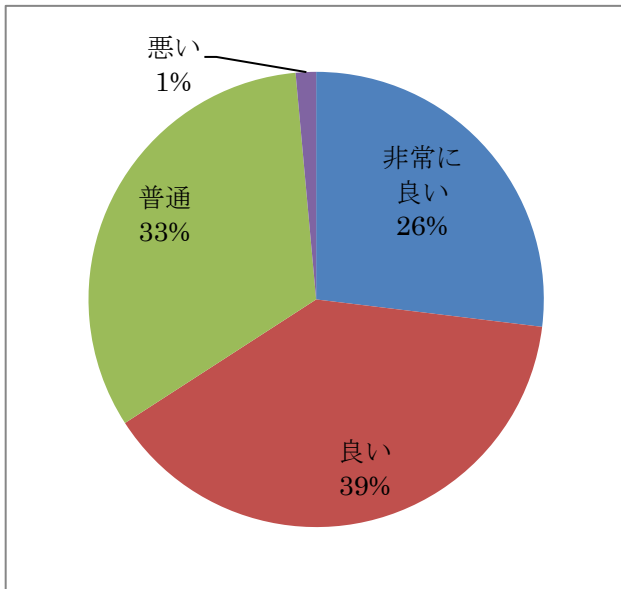
Q3.2 ポスター会場の面積はどうでしたか？



事務局としてはポスター会場の設定に当たりセッション会場の近くにするなどかなり気を使ったつもりです。しかしながら想定以上に沢山の講演があったためかなり手狭になってしまいました(過半数の方が普通と言って下さったことにむしろ驚いています)。ロビーを使うなど柔軟な対応を検討するべきだったかもしれません。

4. 40 回記念企画について

Q4.1 40 回記念企画はいかがでしたか？



Q4.2 40 回記念企画についてご意見・ご感想などがありましたらご自由にお書きください。

- 過去の集録に知ってる先生方の名前を見つけるのがおもしろかった
- ポスターは夏の学校の歴史がわかってよかったです。
- とても興味深い企画でした。ありがとうございました。
- 全然期待していなかったけど、読んでみると意外に良かった。
- 資料集めが大変でした！
- 初めての参加だったので、これまでの夏の学校を知るのにちょうど良かったです。ありがとうございました。
- 40 年間の院生と院生のおかれた環境について知ることができ大変興味深かった。過去の OD 問題の頃のように、院生が社会・行政的なことに積極的に自分たちのための発言をしていくことは今も重要であると思う。
- 指導教官の名があってテンションが上がった
- 教わっている先生の学生時代が見れておもしろかった。
- 過去の歴史が分かってよかった
- 私の集録が出ていてビックリ。他の有名な先生を発見してまたびっくり

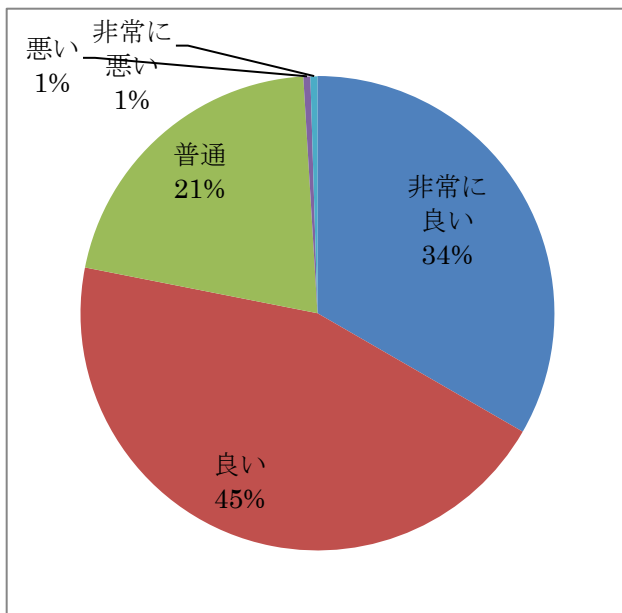
- 何となく歴史を感じられて、よかったです。
- 若かりし大先生の軌跡が面白かった
- いろいろと歴史を知ることができてよかった。
- 指導教官の若い頃の記録が見れておもしろかったです。
- 昔のパンフレット、パネルがおもしろかったです。
- 裏話がきけて楽しかった。
- 指導教員の名前があって面白かった。
- おめでとう！
- おつかれさまです
- 年報のページをもっとみたい！！
- ポスター展示は素晴らしい。自分のレベルにあった説明が聞けるので、一番勉強になりました。是非来年もやって下さい。
- 色々あったんで、暇なときに読みました。
- もっと大々的にやってもよかった。来年は「40 周年」記念企画を！！ポスターだけでなくシングルセッションで OBOG の大先生を呼んで歴史をふりかえりみんなで今後は議論するような物を
- 全体セッション的なものがあったても良かったのかなと思います。
- 是非過去の校長、事務局の話が聴きたかった
- 写真や映像資料があるともっとよかった
- 全体企画のように、大々的に行ってもいいと思う。
- ぜひまとめてどこかで発表を！
- 40 回記念らしい全体企画があってもよかったのでは？（夏の学校の歴史等をよく知らない M1 も多いと思うので）
- 座談会はいらないと思った
- 会場の一等地にアレはジャマな気がする。
- めだたなさすぎると思う。

今回が第 40 回ということで行った記念企画も概ね好評でした。過去の夏の学校でどのような科学的な問題が注目されていたのかということだけでなく、当時の若手が持っていた問題意識なども含めて歴史を振り返ることができ興味深い企画になったのではないかと思います。今回の企画にあたり多数のスタッフの御協力を頂きました。ここにお礼申し上げます。

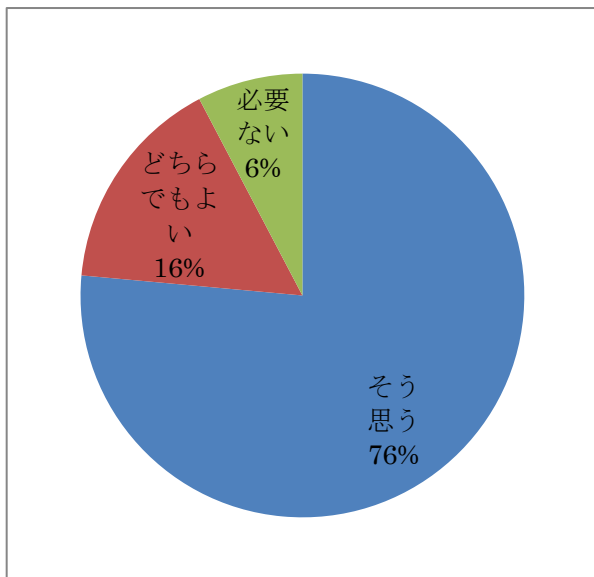
なお本企画は何らかの形(おそらく天文月報や Web)でまとめて公開する予定です。お楽しみに。

5. パンフレット・講演予稿集について

Q5.1 パンフレットの体裁・内容はいかがでしたか？



Q5.2 講演予稿集は会場で配布した方が良いと思いますか？



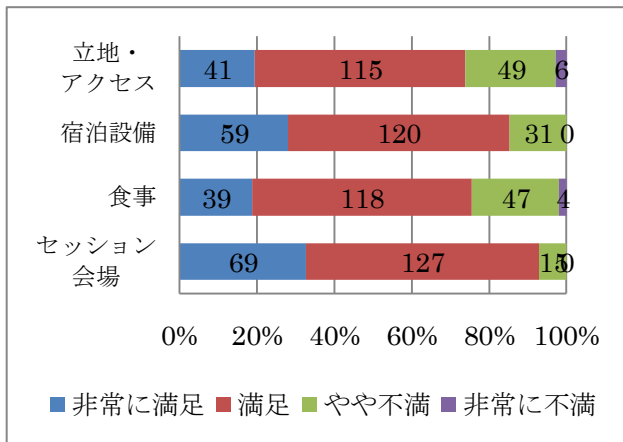
・Q5.3 パンフレット・講演予稿集についてご意見・ご要望等がありましたらご自由にお書きください。

- 今年はカラー写真もついて、立派ですね。
- 昨年よりも使い勝手がよくなった。正直、ここまでのものとは思わなかった。
- 今のままで良いと思います

- 予習復習できて良いです。
- timetable が裏にあるのが見やすい。背表紙がほしい
- スケジュールが書いてありすぐ見やすくてよかったです。
- 裏表紙の講演予定表が見やすかったです。
- 時間割頁がカラーで見易く、非常に助かりました。
概ね評判が良く、特に背表紙の時間割(副事務局長会心の作)は好評でした。
- 表紙はもう少し綺麗な絵があるのでは？と思いました。時系列で並べた方が見やすいかと思いました。
- 日付わけした方がいい
- 1ページに4つの講演(達筆すぎて読み取れず)。規格化した方が見やすい。
- パンフレットに、時系列順の講演名をのせてほしい(分科会ごとじゃなく)
- 招待講演について、各分科会の招待講演の説明は載っていたが、全体企画の招待講演の説明は(ホームページにはあったが)パンフレットにはなかったの、来年は入れてほしいです。
- 講演予稿集の右端(見開き 1/4 程度)にメモスペースがあるとありがたいです。
- アブストラクト以外に時間割表(名前入り)があったら、更に便利だと思います。
- 事前に配布ができるのなら、そうして頂きたいです
- 事前の pdf は壊れていて開くことができなかった。できれば、冊子を郵送していただけたら…
- 事前に見ることができればよかったです
- pdf もほしい
- 出来れば事前に郵送して頂けるとありがたいです。
Web で予稿集(PDF)は公開していましたが事前にアナウンスもしていました。郵送して欲しいという希望は理解しますが費用を考えると難しいです。
- できれば講演予稿のネットの文字をどうにかしてほしい。画面では横書きなのに、印刷すると縦書きになることが多々ありました。
- ミスには気をつけましょう。
- 予稿集だけならいいが
- 金かけすぎだろ。ムダです。

6. 会場について

Q6.1-6.4 会場の立地・アクセス/宿泊設備/食事/セッション会場はいかがでしたか？



大半の方に満足して頂けたと考えています。立地や設備での不満のうち温泉や観光地でないことがどれだけ含まれているのか調べれば良かったかもしれません。

Q6.5 会場・事務局員に関するご意見・ご要望などがありましたらご自由にお書きください。

- 温泉がある観光地もいいですが、学生としては安く交通の便の良い所がいいですね
- 駅からのアクセスがちょっと悪くて、ホテルの周辺で交通もあまりなかった。それに近くに観光地もなかった。ホテル自体はよかったが周りはすこし不満だった。
- 近い！！まずい??
- 駅からの交通の便が悪かった。
初日以外はバスの増発がなかったのが不便だったかもしれません。
- ちょっと遠かったような気が…。でもまあそこまで問題ないです。
- 街中での開催は良くない。抜け出すことができるため。
- 大浴場は必要
- 大浴場があるとなお良かったです。
- 大浴場がほしかったです。
- 大浴場はやっぱあると嬉しい！
- 同室の人のことを考えて、大浴場はほしいと思います。でも次はあるので安心しました。
- しいて言えば、大浴場(温泉でなくても可)があればよかった。

- 全体的に満足ですが、欲を言えば大浴場や宴会場を用意する遊び心があってもいいのではと思った。
- 会場がやや寒かったです。後、スクリーンの大きさ(B会場の方が大きく見やすかった)
- 冷房が効きすぎていました。
- 冷房が強すぎる
- セッション会場が寒いという人が多かったです。
- 空調寒かったので言うたらよかったです。シャイボーイ。
- 冷房が効きすぎて寒いことがよくありました。
- セッション会場が寒かったり暑かったりした。
- 会場の冷房が強すぎた。
- 途中、冷房が効いていなく暑かった。食事をもっと多くしてほしい。
- 寒いか暑いかの両極端でした。分科会会場の環境管理は重要と思います。
空調の管理については御迷惑をおかけしました。集中管理のため事務局側で細かい調整ができず対応が遅くなってしまったことをお詫びします。
- 相対論・宇宙論分科会で、プロジェクターのトラブルが目立った。ホテルに自販機やゴミ箱が殆どない
- 事前にプロジェクターに映るかどうか確認できる状況があったのでしょうか？
- 2人部屋を無理して3人部屋へとしていたのは正直よくなかった。
- 宿泊がもっと大部屋だったらよかった。
- 事務局員の献身ぶりには頭が下がります。会場のネットワーク(wireless)につながることができなくてつらかったです。それで Q6.4 の回答は3にしました。
- 無線 LAN の回線が細く会場ではつなげなかった。
無線 LAN についてはあくまでサービスであり、事務局としては「夏の学校」に必要な要素ではないと考えています。御了承下さい。
- 食事の量が少ないです。
- もう少し安い民宿でもいいと思いました。学生ですし。
- 親睦会の活躍に感謝の気持ちで一杯です。

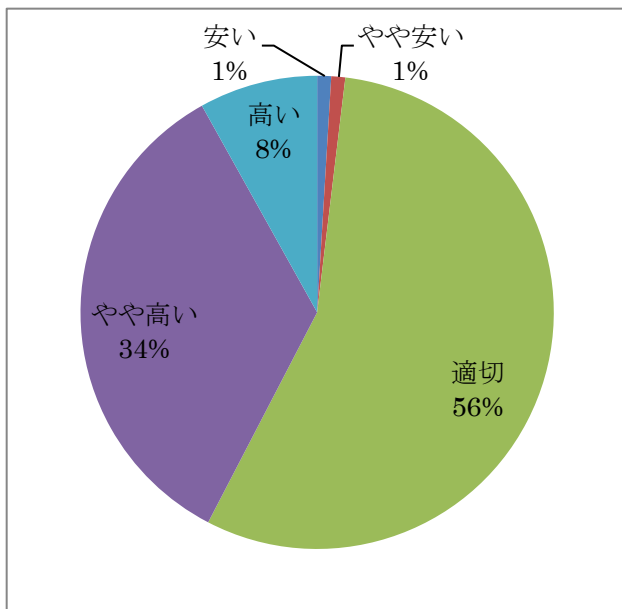
- 拍手はなしでよい。もう少し時間をきっちりしたほうが良い。
- お疲れ様です
- おつかれさまでした
- いろいろとおつかれさまです。

今年は例年とは大幅に雰囲気の違いの違う会場で行いました。選定にあたり、交通アクセスの良さと、研究会会場としての質、加えてホテル側の対応の柔軟さを重視しました。その結果として大浴場や観光地といった要素は残念ながら切り捨てざるを得ませんでした。

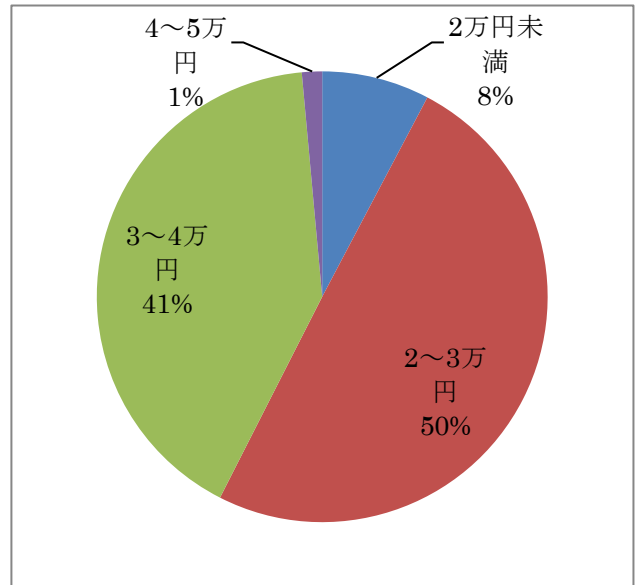
夏の学校はほぼ 400 人に迫る大所帯であり、実はこの人数を収容できる会場の選択肢自体がほとんどありません。このことは費用を下げるのが難しい原因にもなっています(人数が多いから安くできている面もありますが)。毎年会場選定には苦勞しており、可能な限り様々な要求を満たすよう努力していることを御理解頂ければと思います。

7. 参加費用について

Q7.1 宿泊費・参加費は適切だと思いますか？



Q7.2 宿泊費・参加費はどのくらいまでなら許容できますか？



参加費用は総額で3万円以下が望ましいという意見が多いようでした。前でも述べたように費用を下げるのは簡単ではないのですが、より多くの人が参加できるよう努力することが必要だと考えています。これでも去年よりは少し安いのですが。

Q7.3 交通費・宿泊費・参加費合計のうち、財源の割合を教えてください。

自腹	研究費等	旅費補助	人数
100	0	0	34
0	100	0	56
5	95	0	3
10	90	0	6
15	85	0	1
20	80	0	8
25	75	0	1
30	70	0	6
40	60	0	2
50	50	0	6
60	40	0	4
65	35	0	2
67	33	0	1
70	30	0	9
75	25	0	2
20	0	80	3
24	0	76	1

25	0	75	1
30	0	70	2
40	0	60	3
50	0	50	4
60	0	40	13
70	0	30	9
75	0	25	3
80	0	20	5
90	0	10	1

研究費で全額賄える人もいる一方で多額の自腹を切っている人も多く、機関や研究室による格差を露呈する結果となりました。夏の学校で行っている旅費補助は事務局にとっては負担が大きいのですが、この結果をみると如何に参加者にとって補助が重要かがわかります。今年度は収入の大幅増を達成し昨年度よりも旅費補助を充実させることができました。補助金を頂いた各機関・業界団体及び寄付して頂いた個人・企業の皆様に改めて感謝しましょう。

8. お気付きのことやご提案など、何でも構いませんのでご自由にお書きください。

- 交通費補助の目安を可能なら早めに提示して欲しい。(去年は13000円まで負担と聞き控えたが今年は3000円負担だったので)あるいは自己負担分は毎年fixする等
これは収入が確定するのが直前なので不可能です。補助が必要であれば手続きが面倒でも申請するのは各自の責任と御理解下さい。
- 会場の空調が寒すぎます。おつかれさまです。
- 全体の講演プログラムが入り口にあっても良かったと思う。もしあったとしても目につかなかったので、今後は見易い場所にはってほしい。
- 事務局が毎晩1:30amまでつきあっているのには「すごいなあ!」と思いましたが、もっと勝手にやらせておけば、そして事務局も楽しんだらいいと思います。今回は招待講演をたまたま頼まれたので、何十年ぶりかで来ましたが、新しく知り合いができ、研究交流などもできたので良かったです。誘ってくれてありがとうございました。
- 天文普及教育の必要性の再検討をお願いします。
これは事務局が検討することではありません。「誰か」にお願いするのではなく、業界で人数を集めて

その機運を高める所から始めては如何でしょうか。

- スタッフの皆さま、おつかれさまでした。女装は新しい発想ですね。
内輪受けぼくて私は嫌だったんですが(事務局長)
- メモをとるためのノートを配るか、あるいは予稿の下に空白をおいてメモを書けるようにしてもらえると嬉しいです。大きな問題もなく、事が進んだと思います。素晴らしい運営でした。
メモ・余白を増やす、ともに案はありましたが予算の関係上厳しいという判断になりました。
- 事務局のみなさん、統率がとれていて、感心しました。おつかれ様でした。
- ポスターセッションですが、自分の発表中心になってしまい、あまり他の人のポスターが聞けませんでした。3回もあるのですから、時間で分けてはどうでしょうか？係の方、本当にいろいろありがとうございました。&お疲れサマでした。
- 宿泊している施設が高級すぎると思う。
確かにグレードの高いホテルではありますが、交渉により施設の質に対してかなり安い値段でやってもらっています。この人数になるとそもそも選択肢があまりなく、また立地条件(バスのチャーターなどはかなりお金がかかるので)の問題もあり、グレードを下げても費用が下がるとは限らないのです。
- 4日間+α(準備期間)おつかれさまでした。
- お疲れ様でした。
- ご苦勞さまでした。おかげ様で楽しい時を多くの方と過ごすことができました。
- 飲み会は1回でいいと思います。
- 今回の喫煙所の位置はあまり良くなかった。喫煙所、フロント前までタバコのニオイがして苦しかった。隔離してください。セッション会場の入口にスケジュール表などがあるといいです。
- 次の講演者が待つための席・机がほしい
- 事務局スタッフの方おつかれさまでした。おかげで、とても気持ちよく過ごせました。ありがとうございました。
- 部屋割りの名簿が、誰と相部屋になるか分かりにくいので、大学別の他に部屋別の名簿があってもよいと思う。
- ありがとうございました。
- おかげ様で楽しい夏の学校でした。ありがとうございました。お疲れ様!!
- 事務局の方々お疲れさまでした。今回初参加でし

たが、やはり学会の年会では年配の方々に恐縮してしまう所もあったので、こういう若手のみの集まりはとても有意義だと思います。

- 本当にたくさんの色々な経験をさせてもらいました。それもひとえにコアスタッフのみなさまのおかげです。天文学にもっとのめりこんで頑張りたいと思えました。本当に感謝しています。お疲れさまでした。ありがとうございました。
 - お疲れ様でした。今回、懇親会・ポスター共に広いスペースがあり、前回よりも活発に交流を深め、議論することができました。終日ポスターが掲示されるのもよかったです。
 - ポスターセッションでポスターの周りに講演者がいないので、説明が聞きたくても聞けないことが多かった。口頭発表もアワードがあるとモチベ上がるかも。
 - 楽しく、盛り上げようという事務局の意識がよく伝わってきた。実際、非常に楽しかった。おつかれさまです。
 - 初日に事務局長や校長のあいさつがあればよかったなど。
 - 自分の所属する研究室からの初めての参加だったので、補助の情報が入ってこなくて申し込むことができなかつた。事前にスケジュールが分かれば宿泊日数を調整し、費用を節約できた。コンパクトオブジェクトの分科会をわざわざ分割せず連続した日時でやってほしかった。
- 厳しいことを言うようですが、旅費補助の情報は参加申し込みのフォームに書いてありますので、情報が入ってこなかったはずはありません。**
- スケジュールは非常に多くの制約条件(招待講演を重複させない、関連する分野のセッションを重複させない等)のもとで組んでいます。また一方で一日だけに集中させてしまうとその日に出席できない人はそのセッションに一切参加できないことになってしまいます。できるだけ多くの人が満足できるように考慮した結果であると御理解下さい。**
- 一般の学会と同じ形式の発表にこだわらず、もっと学生同志の研究交流がすすむような若手の会ならではのスタイルを導入するとよいと思います。学生の質問にもっと"元気"を感じられると良いです。
 - 沖縄でやりたい
 - 昼食について、値段の割に量が少ない気がします。

- 全体的にスケジュールが詰まりすぎていて、忙しかったです。毎晩親睦会をやっていたので、懇親会は必要なかったのではないかと思った。ポスターセッションの時間に発表者がポスターの前に立つ時間があれば質問ができるので良いと思う。
- おつかれさまです！！
- 校長はじめとした事ム局員の皆さんお疲れ様でした
- たのしい夏の学校をありがとうございました。来年もたのしみにしています。おつかれ様でした。
- こんなにゆるいものとは思いませんでした。
- 事務局長の富田さん、分科会の伊藤さん、本当にお疲れ様でした！
- ありがとうございました。
- ポスターアワードの投票率が高かったのはちゃんと呼び掛けをしたからとのことです。このことを初めとして、ちゃんとやるべき細かいことをちゃんとやっていたのが素晴らしく好感が持てました。たぶんこのアンケートの回収率も高いと期待しています。(そう期待すると、アンケートもちゃんと書こうとするし、好循環ですね。)
- 座長の方は、スクリーンを見るのが大変そうですね。
- お疲れ様でした。初めてでしたが、色々な発表を見て良かったです。
- 事務局の方がテキパキと運営をして下さって、非常に座長の仕事がスムーズにできました。ありがとうございました。来年就職ですが、いい思い出ができたと思います。本当にお疲れ様でした！！(片付け頑張ってください・・・)
- 学校だから、招待講演を1人に長くやってもらうレクチャー形式の方が望ましいと思う。
- ご苦労様でした。ありがとうございます。
- 発表時間が少ないので、発表の内容が結論を述べるだけというのが多いように感じた。専門の人ならそれで分かるのかもしれないが、専門外の内容があまりわからなかつた。参加人数が多いから仕方ないのかなと思いますが、招待講演の時間がかぶってないの良かったです。
- 各セッションに加えて招待講演も多々あり、学会以上に有意義かつ、学生からの質問も多く飛び交い、非常に活発な議論が交わされていたため、この研究会の意義を痛感いたしました。
- 荷物のあつかいは少し気になる。保障はないから。

実際今回は一件取り違えが発生してしまいました。タグをつけるなどして管理するという手もありますが、運営側の手間を考えると、注意を呼び掛けそれでも不安な人は各自で確保しておいてもらうなどになるかと思います。

- ありがとうございます。大変満足です。スタッフの皆様、お疲れ様でした。
- セッション会場の空調がききすぎて寒かったとです…
- 費用をとにかく下げること！
- (ALMA の絵) 若手の質問が元気でうれしかったです。年 10%削減やめろ
- 分科会招待講師の方の話が、人によっては専門的すぎてまるで理解できないことがありました。専門外の人間が知識を広めたり別分野に触れることも夏の学校の大きな目的だと思いますので、門外漢にも聴けるお話を、と招待講師の方にお問い合わせすべきと感じます。

もったもな意見だと思います。各分科会の運営は原則としては各座長団に任せていますが、全体的な質の向上のため事務局からも提言をしていくようにしたいと思います。

- 近年は M1 の発表練習の場となっていると聞いています。D 以上の参加をうながすために、D 以上に役立つポストクのすごし方や、研究姿勢などを議論する場があつていいと思います。社会還元という意味で、総会で何かしら社会還元企画を採用して、1 年間実行するなどの活動があつていいと思う。
- 飲み会の時など議論をすることが多かったのがホワイトボードが欲しかったです。例年、国立天文台野辺山のユーザーズミーティングと時期が重なるということを知ります。座長の方もいらっしゃると思うので、日程は重ならないように気をつけていただければ幸いです。

ホワイトボードのレンタルもタダではないので…。

夏の学校は一年前から日程をアナウンスして準備していますので、重なるのは我々夏の学校側の責任ではないと考えています。

- 若手の会のアンケート(天文学会旅費補助)が回らなかったという話でしたが、いつそのようなものが回ったのでしょうか？

(これは夏の学校とは直接関係ありませんが)[wakate-ml:00107] 2010/06/22 夜です。お手元のメールを御確認下さい。

総評:

夏の学校に御参加頂きありがとうございました。またアンケートに御協力頂いた方、ありがとうございました。概ね好評を頂いたようですが、至らなかった点も多数あり、来年度以降に改善点を引き継ぎたいと考えています。

さて、参加者の皆さんに心に留めておいて欲しい点の一つあります。それは、夏の学校事務局は学生のボランティアで運営されているということです。事務局はより良い夏の学校運営のために最善の努力をしていますが、一方で各事務局員は本業のある学生であり無制限に業務はできないということ、そのため必ずしも全ての希望に対応することはできないということを理解して頂ければ幸いです。事務局は働いて当然となってしまうと、お互い気分よく夏の学校に取り組むことはできません。夏の学校に単なる「客」として参加するのではなく、協力して夏の学校を作り上げる「仲間」であるという意識を持って頂ければ、事務局と参加者の距離も縮まり、自然と良い雰囲気夏の学校ができるのではないのでしょうか。

第40回の記念すべき夏の学校は無事終了しました。規模や形は変化しつつも、夏の学校が掲げる目標通り、夏の学校は若手の育成において担う役割の重要性は今も変わらないと考えています。これからもこの伝統を引き継いでいけるよう、今後とも夏の学校に参加頂けますよう、また夏の学校の運営に御協力頂けますよう、よろしくお願ひいたします。

(文責:SS10 事務局長 富田賢吾)